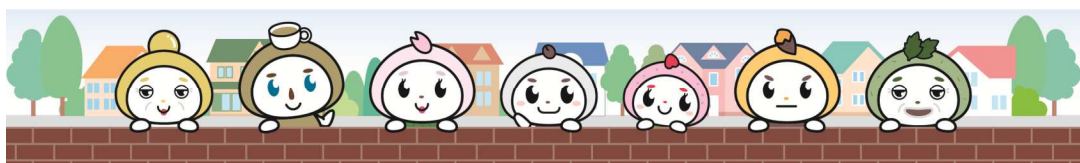


宇佐市社会福祉協議会

# 平成28年度 事業報告書



社会福祉法人 宇佐市社会福祉協議会

【法人運営部門】・・・・・・・・・・2～6

【地域福祉部門】・・・・・・・・・・7～10

【在宅福祉部門】・・・・・・・・・・11

【院内圏域地域包括支援センター】・・・・・・・・12

## 事業実施概要

平成 28 年度の社会経済においては、社会保障と税の一体改革が進められてきました。その一方、人口減少や少子高齢化の進行による社会構造の変化なども起こり、地域でのつながりの希薄化、虐待、孤立死、閉じこもりなどの問題も表面化してくるなど、地域を取り巻く環境は、とりわけ複雑化、多様化しています。

このような社会の変動の中、本会では地域福祉推進のために重点項目を 7 点掲げ「だれもが安心して暮らせるまちづくり」「災害に強いまちづくり」を推進していきました。

法人運営部門では、本会の使命に沿うよう各部門の事業遂行に必要な基盤整備を行うとともに、「社協だより」や「ホームページ」など広報や啓発活動を充実させ、常に最新の状況を公開し、社協と住民の顔の見える関係づくり及び知名度の向上に努めました。

地域福祉部門では、地域福祉を総合的に推進するため、高齢者福祉事業、障がい者福祉事業、ボランティアセンター事業及び生活困窮者の支援に努めました。また、認知症を患う方が住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、4 月より認知症地域支援推進員を設置し、10 月より認知症初期集中支援チームを発足しました。

さらに地域の繋がりを強化するため「高齢者ふれあいサロン」「認知症予防教室」「地域に根ざした介護予防教室」など地域住民が主体となる地域に根ざした活動を展開していきました。

子育て支援部門では、子どもが心身ともに健やかに育成できるように、また子育ての不安を解消し、安心して子どもを産み育てることができるよう、事業を充実させました。

在宅福祉部門では、質の高いサービスの提供に努めました。平成 27 年に介護保険制度が改正され、宇佐市では平成 28 年度より実施されました。新しい制度にスムーズに対応し、関係法令を遵守したサービスの提供を行いました。

また、平成 28 年 4 月中旬に熊本を中心とした大規模な地震が発生しました。多くの尊い人命が失われたうえに、熊本城など重要文化財の損傷や家屋なども多数倒壊しました。近年の自然災害による被害規模は、想定を超えることが多くなり、加えて、南海トラフ地震の発生が懸念されていることから、自然災害に対する備えがますます重要になってきました。本会の災害時における役割の重要性についても、今まで以上に問われています。発災時の対策について協議を進め、災害時要援護者台帳の整備や災害ボランティアセンターの開設に必要な備品、災害ボランティアの支援活動に必要な物品等の整備を行っています。また、今回、被災地の復興と被災された方々の生活再建をサポートするため、現地の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。今後も市外の復興支援に迅速な対応と協力ができるように体制を作っていきます。

災害対策と合わせて、総合的に地域福祉の推進に努めた 1 年でありました。

## 【 法人運営部門 】

### 1. 理事会の開催

【第1回理事会】 平成28年5月26日 午前10時  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
理事9名出席 監事1名出席

- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会事業報告について
- 第2号議案 宇佐市社会福祉協議会決算について
- 第3号議案 評議員の補充選任について

【第2回理事会】 平成28年12月27日 午前10時  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
理事8名出席 監事2名出席

- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会定款変更（案）について
- 第2号議案 宇佐市社会福祉協議会理事・監事・評議員選任規程の一部改正（案）について
- 第3号議案 宇佐市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則（案）について
- 第4号議案 評議員の補充選任について

【第3回理事会】 平成29年1月27日 午前10時  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
理事10名出席 監事2名出席

- 報告第1号 新規事業の受託について
- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会副会長の選任について
- 第2号議案 宇佐市社会福祉協議会会長の職務代理指名について
- 第3号議案 宇佐市社会福祉協議会定款変更（案）の修正について
- 第4号議案 宇佐市社会福祉協議会諸規程の一部改正（案）について
  - ・評議員選任・解任委員会運営細則
  - ・評議員・理事・監事選任規程
  - ・事務局設置規程
  - ・会長の専決処分事項に関する規程
  - ・経理規程
- 第5号議案 宇佐市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について

【第4回理事会】 平成29年2月24日  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
理事8名出席 監事2名出席

- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会評議員候補者について

- 【第5回理事会】 平成29年3月24日  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
理事10名出席 監事2名出席
- 報告第1号 平成28年度宇佐市社会福祉協議会資金収支見込みについて  
第1号議案 平成28年度宇佐市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について  
第2号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会事業計画(案)について  
第3号議案 平成29年度宇佐市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

## 2. 評議員会の開催

- 【第1回評議員会】 平成28年5月26日 午後1時30分  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
評議員18名出席 監事1名出席
- 第1号議案 平成27年度宇佐市社会福祉協議会事業報告について  
第2号議案 平成27年度宇佐市社会福祉協議会資金収支決算書について  
第3号議案 理事の補充選任について

- 【第2回評議員会】 平成28年12月27日 午後1時30分  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
評議員16名出席
- 第1号議案 宇佐市社会福祉協議会定款変更(案)について  
第2号議案 宇佐市社会福祉協議会理事・監事・評議員選任規程の一部改正(案)について  
第3号議案 宇佐市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則(案)の制定について  
第4号議案 理事の補充選任について

- 【第3回評議員会】 平成29年1月27日 午後1時30分  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
評議員19名出席
- 報告第1号 新規事業の受託について  
第1号議案 宇佐市社会福祉協議会副会長の選任について  
第2号議案 宇佐市社会福祉協議会会長の職務代理指名について  
第3号議案 宇佐市社会福祉協議会定款変更(案)の修正について  
第4号議案 宇佐市社会福祉協議会諸規程の一部改正(案)について
- ・評議員選任・解任委員会運営細則
  - ・評議員・理事・監事選任規程
  - ・事務局設置規程
  - ・会長の専決処分事項に関する規程
  - ・経理規程

【第4回評議員会】 平成29年3月24日 午後1時30分  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室  
評議員17名出席

報告第1号 平成28年度宇佐市社会福祉協議会資金収支見込みについて  
第1号議案 平成28年度資金収支補正予算（案）について  
第2号議案 平成29年度事業計画（案）について  
第3号議案 平成29年度資金収支予算（案）について

### 3. 監事会の開催

【監査】 平成28年5月19日 午前10時  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

### 4. 評議員選任・解任委員会の開催

平成29年2月28日 午前10時  
宇佐市社会福祉協議会 本所 会議室

### 5. うさ福祉フェスタの開催

宇佐市ボランティア連絡協議会と共催により、福祉事業に功績顕著な個人、団体等の表彰とボランティアの活動発表及び認知症予防啓発講演会を実施しました。

- (1) 期 日 平成28年10月30日（日）
- (2) 会 場 ウサノピア大ホール
- (3) 参加者数 350名
- (4) 概 要 （式典、活動発表、講演会）

#### ○式典

- |        |               |        |
|--------|---------------|--------|
| ①会長表彰  | ・民生委員・児童委員功労者 | 13名    |
|        | ・社会福祉事業関係功労者  | 10名    |
|        | ・社会福祉事業協力功労者  | 3名・3団体 |
|        | ・老人、身障介護功労者   | 3名     |
| ②会長感謝状 | ・民生委員・児童委員功労者 | 17名    |
|        | ・社会福祉事業協力功労者  | 9名・1団体 |

#### ○ボランティア活動発表

- ① ボランティア団体 1団体（ふるさと民謡 三尚会）
- ② ボランティア協力校 1校（宇佐市封戸小学校）

#### ○認知症予防啓発講演会

「正しく知って今日からできる認知症予防活動」

～自分でできること・地域でできること～

講師：豊栄加齢研究所 最高顧問

豊栄クリニック 山田達夫先生

## 6. 広報啓発活動

社会福祉協議会に対する理解を得るため広報・啓発活動の充実を図りました。

広報誌「社協だより うさ」の発行

VOL.33号・・・平成28年6月発行

VOL.34号・・・平成28年9月発行

VOL.35号・・・平成29年2月発行

ホームページの運営

社協ホームページの適時更新

(宇佐市社会福祉協議会のURL <http://www.usa-shakyo.jp>)

## 7. 共同募金運動の実施・配分

地域福祉を推進するために貴重な財源である赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動に積極的に取り組みました。

### 【募金運動】

#### (1) 赤い羽根共同募金

期 間 平成28年10月1日～平成28年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	7,500,000円	7,621,662円	平成27年度募金総額 7,396,073円

※7,621,662円を大分県共同募金会に送金し、平成29年度に送金額の約61%が宇佐市に配分されます。

#### (2) 歳末たすけあい募金

期 間 平成28年12月1日～平成28年12月31日

	計画	実績	備考
募金総額	3,500,000円	3,525,115円	平成27年度募金総額 3,467,374円

### 【配分実績】

#### (1) 赤い羽根共同募金（平成27年度募金額に対する配分金）

配分総額 4,600,800円 (配分委員会を平成28年11月29日に開催)

内訳	配分金額	配分先
高齢者福祉	415,000円	宇佐市老人クラブ連合会
障がい児・者福祉	806,000円	宇佐・院内・安心院身障協 心理リハビリ教室
児童・青少年福祉	415,000円	宇佐市認可保育園、認定子ども園協議会 宇佐市青少年健全育成会議、院内町育成会 長洲みんなで良い子に育てる会
母子・父子福祉	57,000円	宇佐市母子会
福祉育成・援助	2,907,200円	高齢者ふれあいサロン助成・貸出備品の整備 保護司会、更生保護女性会、宇佐市婦人会

(2) 歳末たすけあい募金

配分総額 3,525,115 円 (配分委員会を平成 29 年 2 月 29 日に開催)

内訳	配分金額	配分先
歳末見舞金品	219,105 円	寝たきり高齢者他
生活支援事業	1,271,817 円	配食サービス、友愛訪問、高齢者見守り活動
総合福祉	1,574,193 円	宇佐市民児協、宇佐市ボラ連他
災害・緊急関係	460,000 円	災害ボランティアセンター機材整備

8. 一般寄付、香典返しによる寄付

寄せられた寄付金は、福祉事業運営に大切に使用させていただきました。

	計画(件数)	実績(件数)	計画(金額)	実績(金額)
一般寄付	20 件	17 件	250,000 円	254,748 円
香典返しによる寄付	380 件	363 件	9,200,000 円	8,661,000 円

(寄付金の使途)

	金額	備考
福祉活動費	4,057,244 円	安心ネットワーク構築、要援護者見守り 行方不明者捜索模擬訓練
福祉バス運行管理費	256,584 円	
広報費	1,865,457 円	
ボランティア活動費	731,715 円	
生活保護繋ぎ資金	1,750,000 円	

9. 福祉バスの運行

福祉関係機関等が福祉事業推進のための会議、研修会、講習会等にバスを運行しました。

【運行実績】 年間 93 回

内訳	回数
児童福祉	18 回
高齢者福祉	20 回
障がい者福祉	20 回
ボランティア	8 回
民生委員	15 回
その他	12 回



## 10. 本会への苦情の状況

本会が実施している事業、サービスについて各部署に苦情受付担当者、責任者を設置し、適切に解決を図るよう努めました。

### 【苦情内容及び処理状況】

- ・公用車の運転について 1件（院内デイサービスの送迎時における速度超過）
- ・対処：厳重注意をし、全職員へ文書にて注意喚起を行う。

## 11. その他

### (1) 職員の健康管理（定期健診の実施）

全職員（28年9月～29年2月）宇佐高田成人病検診センター

## 【 地域福祉部門 】

### 1. 地域福祉事業の推進

(1) ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業（旧市内）

- ・ひとり暮らしの 70 歳以上の高齢者へ、乳酸菌飲料の販売員が訪問し安否確認を実施しました。

	計画	実績
対象者	30 名	27 名
延べ訪問回数	3,000 回	2,905 回

(2) ひとり暮らし高齢者ふれあい交流会の開催（院内地区）

期 日 平成 28 年 11 月 9 日 午前 11 時  
 会 場 宇佐市院内文化交流ホール  
 参加者数 124 名

(3) 配食サービスの実施（院内地区）

- ・年 1 回 75 歳以上のひとり暮らし高齢者、80 歳以上の高齢者世帯へ弁当を配達しました。

実 施 日 平成 29 年 3 月 8 日、14 日（2 日間）  
 配 食 数 160 食

(4) 点字講習会の開催

- ・応用編 月 2 回実施 年 21 回（会場：社協本所会議室 受講者：3 名）

(5) 心理リハビリ教室の開催

- ・脳性マヒなど肢体不自由を持つ障がい児の動作の改善を目的として実施しました。
- 月 2 回実施 年 23 回

(6) 「うさっ子サポートセンター」の運営

	計画	実績
おねがい会員	35 名	33 名
まかせて会員	35 名	46 名
活動件数	350 件	409 件

(7) 住民参加型有償サービス「おんもらと」の運営

- ・低所得の高齢者に対して、買い物や家事、家の周りの環境整備などを実施しました。

	計画	実績
協力会員	10 人	6 人
利用者	20 名	19 名
活動件数	55 件	44 件
活動人員	60 件	52 名
延べ活動時間	220 時間	182 時間

## (8) 各種福祉機器等の貸出

(単位：件)

品目	本所	院内支所	安心院支所
電動ベッド(新規)	—	—	—
車イス	52	5	9

## (9) 生活福祉資金の貸付業務

- ・相談件数：71件
- ・貸付件数：20件
- ・貸付金額：3,268,000円

※県社協にて審査

福祉費	7件	1,755,000円	20年以内で償還期間を選択
緊急小口資金	12件	1,015,000円	1年以内で償還
教育支援資金	1件	498,000円	20年以内で償還期間を選択

## 2. ボランティア事業の推進

### (1) ボランティア活動の相談、登録、斡旋

地域や個人の困りごとを解決し、不安な日々を、心温かい日々に変えていくために、ボランティア事業の推進を図りました。

	計画	実績
ボランティア登録数 グループ	50グループ 1,700名	45グループ 1,194名
ボランティア登録数 個人	20名	9名
ボランティア登録数 協力校	7校	7校
相談件数	30件	21件
斡旋件数	30件	39件

イベントや施設行事の補助、支援学校の授業補助等、買物・通院介助

## 3. 福祉教育の推進

講話や体験学習等を通じて、すべての人を個人として尊重し、思いやりの心を持って助け合う態度を育て、ともに生きる人間の育成を目的に実施しました。

### (1) 出前教室の実施（市内小・中学校）

計画	実績
30回実施	27回実施

(内訳)車いす体験	2回
手話	8回
点字	9回
アイマスク体験	5回
ふうせんバレー	3回
講話	0回

## (2) ボランティア協力校の活動支援

封戸、宇佐、長峰、安心院、佐田、深見、院内北部小学校

1年間指定 1校につき4万円の活動助成金を交付

## 4. ボランティア連絡協議会の活動支援

ボランティア連絡協議会の事務局として、活動の支援及び助成を行いました。  
社協とボラ連が共催で「第12回うさ福祉フェスタ」を実施しました。

### 環境美化運動

内 容	環境整備
期 日	平成28年7月30日
場 所	乙女地区海岸
参加者	40名 (前年度対比) 1名減

## 5. 夏のボランティア体験月間の実施

市内の保育園、福祉施設等の協力を得て、ボランティア活動のきっかけづくりを目的におこないました。

計画	実績
参加者 100名	参加者 81名

## 6. 他機関との連携等

- ・夏季日中一時支援事業「すきっぷ」のボランティア受付と調整 31名
- ・各種ボランティア保険の加入促進および事務 867件

## 7. 介護予防ボランティア活動（市受託）

	計画	実績
登録人数	35名	35名
開催教室	140教室	142教室
延べ派遣人数	820人	760人

## 8. 高齢者ふれあいサロン事業（市受託）

地域の高齢者が歩いて参加でき、「楽しく」「気軽に」「無理なく」過ごすことができるサロンづくりを推進しました。

22年度	12ヶ所	23年度	10ヶ所
24年度	26ヶ所	25年度	26ヶ所
26年度	15ヶ所	27年度	10ヶ所
28年度	3ヶ所	計	102ヶ所

	計画	実績
28年度	100ヶ所	102所

## 9. 認知症予防教室（市受託）

認知症は誰でも発症する可能性があります。そのために、元気なうちから取り組むことが大切になります。市内20グループが予防のため作業療法、運動療法、料理プログラムなど実践しています。

計画	実績	備考
20 教室	20 教室	新規開設 3 教室

（教室一覧）

安心院けんこうクラブ火曜日（安心院）	安心院けんこうクラブ木曜日（安心院）
安心院けんこうクラブ金曜日（安心院）	原口なかよし会（院内）
中央いきいき会（安心院）	下時枝けんこう教室（宇佐）
下森山認知症予防教室（宇佐）	高森ヘルス（宇佐）
沖けんこう教室（院内）	麻生認知症予防教室（宇佐）
長洲認知症予防教室（宇佐）	金丸認知症予防教室（宇佐）
新貝認知症予防教室（宇佐）	松崎認知症予防教室（宇佐）
江島認知症予防教室（宇佐）	柳ヶ浦オレンジ会（宇佐）
東宮認知症予防教室（宇佐）	清水認知症予防教室（宇佐）
新吉松認知症予防教室（宇佐）	常徳認知症予防教室（宇佐）

視察：県内 2 団体 県外 8 団体

相談件数：53 件

## 10. 認知症支援推進員の活動

	計画	実績	備考
相談件数	50 件	96 件	
啓発	15 行政区	26 行政区	
講演会	3 回	4 回	
模擬訓練	3 ヶ所	5 ヶ所	
視察	5 件	9 件	県内 4 団体 県外 5 団体

### 11. 認知症初期集中支援チームの活動（平成28年10月から）

	計画	実績
相談件数	20 件	20 件
訪問	30 件	35 件
啓発活動	30 件	38 回

## 1 2. 黄色い旗運動

玄関先などの目につきやすい場所に「黄色い旗」を掲揚することにより地域全体での見守りや安否確認ができるように黄色い旗を配付しました。

	計画	実績	備考
実施地区	25ヶ所	27ヶ所	3地区増
延配布枚数	3,200枚	3,400枚	313枚増

## 1 3. 日常生活自立支援事業（県社協受託）

### (1) 「あんしんサポートセンター宇佐」の運営

- ・認知症等により判断能力が不十分になった方や支援を必要とされる高齢者、知的・精神障害のために支援を必要とされる方へ、関係機関との連携を図りながら福祉サービス利用や金銭管理の援助を行いました。

	計画	実績
利用者数	75名	70名
延べ活動件数	1,300件	1,167件
生活支援員	7名	7名

## 1 2. 障がい者移動支援事業（市受託）

- (1) かけはし号の運行 リフト付ワゴン車 10人定員内車いす2脚 1台  
リフト付ワゴン車 10人定員内車いす1脚 1台

- ・屋外の移動が困難な障がい者・児に対して、ボランティアが安全な外出の支援を行い、余暇を楽しく過ごすとともに、自立生活及び社会参加を促すことを目的に「かけはし号」を運行しました。

	計画	実績
運行回数	165回	158回
延べ利用者	1,000名	949名

## 1 3. その他の受託事業

### (1) 児童館運営

うさ児童館

	計画	実績
1日平均利用者数	80名	94.8名
開設日数	307日	307日
延べ利用者数	25,000人	29,119人

安心院児童館

	計画	実績
1日平均利用者数	37名	37.3名
開設日数	289日	289日
延べ利用者数	10,000人	10,801人

(2) 放課後児童クラブ（津房地区）

	計画	実績
1日平均利用者数	6名	9.5名
開設日数	258日	258日
延べ利用者数	1,500人	2,469人

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

(3) 食の自立支援事業

- ・院内、安心院圏域で栄養管理や安否確認が必要な高齢者に対して配食をおこないました。

	計画	実績
院内	650食	495食
安心院	450食	925食

(4) 子育て支援拠点事業（院内・安心院支所）

- ・未就園児を子育て中の保護者の方が、自宅にこもることなく気軽に参加し交流できる場、子育てを相談できる場を提供しました。
- ・院内 開設日 月・木・金

	計画	実績
延べ参加者人数 大人	380名	337名
延べ参加者人数 子ども	470名	406名
開設日数	142日	142日

- ・安心院 火・水・金

	計画	実績
延べ参加者人数 大人	890名	609名
延べ参加者人数 子ども	980名	691名
開設日数	150日	150日

## 【 在宅福祉部門 】

### 1. 介護保険事業の実施

#### (1) 居宅介護支援事業の実施

	計画	実績
ケアプラン作成数	1,800 件	1,617 件

- ・ サービス利用にかかるモニタリングの実施
- ・ サービス担当者会議の実施
- ・ 支所間のケアマネ連絡調整会議の開催（月 1 回）

#### (2) 訪問介護事業の実施

	計画	実績
延べ利用者数	350 名	352 名
延べ訪問回数	3,000 回	2,958 回

- ・ 連絡調整会議の開催（月 1 回）
- ・ サービス担当者会議への参加

#### (3) 通所介護事業の実施

（院内町デイサービスセンター）

	計画	実績
1 日平均利用者数	20 名	19.2 名
開設日数	256 日	256 日
延べ利用者数	5,000 人	4,918 人

（安心院老人デイサービス）

	計画	実績
1 日平均利用者数	20 名	17.1 名
開設日数	256 日	256 日
延べ利用者数	5,000 人	4,379 人

- ・ デイサービスだよりの発行
- ・ サービス担当者会議への参加

#### (4) サービスの質の向上を目指し、各種研修会への参加

- ・ 介護支援専門員研修・訪問介護員研修・介護職員研修
- ・ 看護職員研修・調理職員研修・その他

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。



## 2. 障がい者自立支援事業の実施

### (1) 障がい者生活介護センターの運営

	計画	実績
1日平均利用者数	10名	8名
開設日数	256日	256日
延べ利用者数	2,400人	1,944人

### (2) 障がい者居宅介護事業（訪問介護）の実施

	計画	実績
延べ利用者数	150名	163名
延べ訪問回数	800回	1,008回

### (3) サービスの質の向上を目指し、各種研修会へ参加

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

## 【 院内圏域地域包括支援センター 】

### (1) 介護予防マネジメント業務の推進

- ・特定高齢者の把握

### (2) 総合相談・支援事業の推進

- ・総合相談の実施及び支援

電話による相談：39件

来所による相談：35件

訪問による相談：42件

- ・関係者による「院内圏域地域包括ケア会議」の開催：12回
- ・介護予防教室：30回
- ・地域組織への支援：2回
- ・介護予防に関する講演会：30回
- ・権利擁護
- ・介護支援専門員への支援

### (3) 指定介護予防事業の実施

- ・介護予防プランの作成と評価

※事業実績状況については、（別添資料）を参照ください。

### (4) 地域ネットワークの構築

- ・虐待防止
- ・災害時高齢者支援
- ・認知症対策の推進
- ・医療と介護、福祉の連携

### (5) 学生の実習受け入れ